

議会広報

# かりば

第119号  
平成19年4月



## 島牧小学校入学式

— 平成19年4月6日 —

### おもな内容

#### ► 第1回定例会

行政報告 ..... 2~3ページ

審議した議案と内容 ..... 3~4ページ

一般質問 ..... 4~12ページ

予算特別委員会 ..... 11ページ

► 第1回臨時会 ..... 12ページ

# 平成19年第1回村議会定例会

3月6日～12日

## 平成19年度各会計予算は 予算特別委員会を設置し審議

平成19年度予算を審議する第1回村議会定例会は3月6日に招集され、会期を3月13日までの8日間と決め、初日は村長の村政執行方針と教育長の教育行政執行方針が述べられた他、議案18件を審議し、平成19年度の各会計予算は予算特別委員会を設置して審議を付託し、3月11日まで休会に入りました。再開日の3月12日は3名の議員が村政に対する一般質問を行いました。

その後、予算特別委員会で新年度各会計予算を審議し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

この後開かれた本会議で、伊藤予算特別委員長より審議結果が報告され、いずれも原案どおり可決されました。

この他平成18年度各会計の補正予算の議案5件、閉会中の継続調査1件をそれぞれ可決、決定し閉会しました。

## 行政報告

### 2. 18年分漁協水揚げ状況について

島牧漁業協同組合の、平成18年1月から12月までの「魚種別漁獲量及び漁獲金額」についてご報告します。

昨年の島牧漁協としての漁獲量は3,608トン、消費税抜きの漁獲金額は9億7千円あまりで、平成17年に比べますと漁獲量で32トンの増、金額では1億7千万円の大増幅な増となってています。

協議の結果、地方分権時代における権限移譲の受け皿と

しての役割と行政サービスの水準の維持を確保するために、広域化・集約化が不可欠であるとの方向性で一致し、16町村体制で設立を目指すこととなりました。

本村は、議会の皆様より多岐にわたるご意見をいたいたことを念頭に、後志広域連合に参加することを決断し参加表明をしてまいりました。

今後、本連合が設立趣旨にのつとり運営され、後地域はもとより、我が島牧村の行政サービス水準が維持されよう構成自治体として支援していくことを申し述べ、一連の経過報告いたします。

### 1. 後志広域連合の設置について

後志19町村が一体となつて設立を目指しておりましたが、余市町・岩内町・寿都町が当面参加しないことを受け、3町を除く16町村体制で設立を検討することになり、2月26日後志広域連合準備会を開催し協議を行いました。

これの要因としては、サケ、イカナゴ、ナマコ漁でそれぞれ1億円以上の水揚げとなつたことで、サケは数量では減じているものの価格が回復傾向にあり1億6千万円と3年連続1億以上の水揚げとなり、イカナゴはここ数年低迷していましたが5年振りに1億円を超えて、ナマコは中国での需要増を背景に価格が急騰して、キロ当たり平均でも3千円を超えて、1億1千9百万円程の金額となっています。

主な魚種別に前年との比較を見ますと、数量で前年よりも大きく変動しているのは、サケが155トンの減、ホッケが115トンの減で、他魚種

で123トンの増となつてお  
り、漁獲金額では増えている  
主な魚種はヒラメが1千9百  
万円の増、カレイが1千万円  
程の増、イカナゴが4千9百  
万円の増、タコが1千9百万  
円の増、ナマコで7千1百万  
円の増であり、減少したのは  
ウニむき身で1千2百万円程  
の減となつています。

昨年は9月の台風13号や、

10月上旬に全道に猛威をふるつ

た低気圧の影響で、本村の定  
置網関係者も大きな被害を受  
けましたが、以上のとおり平

成18年分の水揚げ金額は前年  
より大幅に伸びており、一安心

心ではありますが、中身を見  
ますと毎年変動する魚種が多  
く、今後とも本村の基幹産業  
であります漁業振興を図るた  
め、作り育てる漁業の推進に  
ついて、漁協と協力しながら  
努力して参りたいと考えてお  
ります。

### 3. 島牧農協に対する農林業 経営再建整備資金の貸付変 更について

畜産農家の経営再建対策と  
して、村が平成7年から9年  
度にかけて島牧村農業協同組  
合に貸付を行つた資金2千5

百41万7千円については、返  
済まで長期にわたる制度資金  
であるため、本来は産業振興  
基金からの貸付とすべきもの  
が、当時は基金会計に貸付を  
行うだけの資金がなかった事  
等の理由により、毎年一般会  
計で予算を組んで貸付を継続  
してきたものでありますが、  
産業振興基金から貸付してい  
た資金も今まで計画どおりに  
返済されて、現在の産業振興

百41万7千円については、返  
済まで長期にわたる制度資金  
であるため、本来は産業振興  
基金からの貸付とすべきもの  
が、当時は基金会計に貸付を  
行うだけの資金がなかった事  
等の理由により、毎年一般会  
計で予算を組んで貸付を継続  
してきたものでありますが、  
産業振興基金から貸付してい  
た資金も今まで計画どおりに  
返済されて、現在の産業振興

基金の残高は一般会計で貸付  
している額以上の資金がある  
ので、本年度末の償還日をもつ  
て一般会計からの貸付を、本  
來の基金会計からの貸付に変  
更することとしております。

これに伴い、19年度からは  
一般会計予算において農協に  
対する経営再建資金の貸付は  
計上しなくなりますので、ご  
報告します。

## 条例制定

### ◎全員賛成で原案可決

料及び印鑑証明手数料等  
「2百円」を「3百円」に改  
正。

### ◎全員賛成で原案可決

▼重度心身障害者及びひとり  
親家庭等の医療費助成条例  
の一部改正

法律改正に伴う文言の改正。  
▼総合福祉医療センターの設  
置及び管理に関する条例の  
一部改正

行政機構改革により、「企  
業課」「観光課」を「総務課」に統  
合、「健康福祉課」を「福祉

課」に、「水産農林課」を  
「施設課」に名称変更し、  
事務分掌の一部を変更する。

◎賛成・反対同数、議長裁決  
により原案可決

▼特別職の職員の給与及び旅  
費支給に関する条例の一部  
改正

▼島牧生活安全条例の制定

犯罪のない安全で安心な村  
づくりを目指し、村民が安心  
して暮らし活動することので  
きる社会を実現するため条例  
を制定する。

◎全員賛成で原案可決

▼財政調整基金の一部処分

平成19年度一般会計予算

▼平成19年度国民健康保険事  
業特別会計予算

▼平成19年度簡易水道事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

▼平成19年度介護保険事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

▼平成19年度簡易水道事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

▼平成19年度簡易水道事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

▼平成19年度簡易水道事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

▼平成19年度簡易水道事業特  
別会計予算

▼平成19年度老人保健特別会  
計予算

法律改正に伴い、外出支援サ  
ービス事業の利用者の範囲を拡  
充する。

◎全員賛成で原案可決

▼漁業近代化資金利子補給条  
例の一部改正

法律改正に伴い、外出支援サ  
ービス事業の利用者の範囲を拡  
充する。

◎全員賛成で原案可決

▼副村長定数条例の制定

副村長の定数を1人とする。



政機構図、課の設置条例の改正をなさった訳ですけれども、もう少し私は、この1月25日議員協議会に示されたこの案、もう

少しきちんと見直しをすべきで  
あつたなということだけは申し  
添えておきます。

2 人家後背地の排水について  
平成11年第1回定例会において、当濱野議員より「民家裏山の危険箇所指定地域の定期的な監視と側溝整備について」と一般質問がなされた訳であります。その後の対応と現在の状況をお伺いします。

2. 人家後背地の排水について

て、当 時 濱 野 議 員 よ り 「 民 家 的 な 監 視 と 側 溝 整 備 に つ い て 」

村長

平成11年3月の定例会において、豊浜地区の後背地の側溝整備に関し一般質問がなされ、その後の対処状況についてのご質問であります。人蔵の後背地は、急峻崖地でありその殆どが国有保安林であります。

また、崖地上部の高台が民有地となつております。

高台休耕地の側溝整備については、平成11年度に旧軽臼グランド横から大川商店裏までの約700mにわたり素堀側溝を実施しております。

今後は定期的に側溝状況を確認のうえ、必要な処置を講じて災害防止に努めてまいりますのでご理解賜りたいと思います。

それで、この異常気象の中でも、年間を通して本当に一時にどつと雨が降ってもおかしくないということを考えれば、あってからでは遅いので、災害が起きる前に手当をしておくと、それは絶対必要だろう。たまたま今年、雪が少なかったから除雪費が浮いていいということではなく、逆にこの年間の降水量か

教育長

### 3. 小学校の耐震診断について

村長 平成11年3月の定例会において、豊浜地区の後背地の側溝整備に関し一般質問がなされ、その後の対処状況についてのご質問には、平成11年度に旧軽臼グランド横から大川商店裏までの約700mにわたり素堀側溝を実施しております。

問であります。地は、急峻崖地でありその殆どが国有保安林であります。また、崖地上部の高台が民有地となっております。

今後は定期的に側溝状況を確認のうえ、必要な処置を講じて災害防止に努めてまいりますのでご理解賜りたいと思います。

それで、この異常気象の中でも、年間を通して本当に一時にどつと雨が降ってもおかしくないということを考えれば、あってからでは遅いので、災害が起きる前に手当をしておくと、それは絶対必要だろう。たまたま今年、雪が少なかったから除雪費が浮いていいということではなく、逆にこの年間の降水量か

3. 小学校の耐震診断について  
教育長の教育行政執行方針の中で、本年、小学校の耐震診断を実施し、今後の対応を検討すると述べられておりますが、いろいろ面倒なこともありますからとは考えますが、今現在考えられることを具体的にお知らせください。

大体年間の降水量は変わらぬ  
いと、そういうことになればや  
はり雪が少ない分今後の雨、こ  
れについては注意しなければな

處してまいりたいと思っておりますのでご理解いただきたいと  
思います。

村長 私も今年の暖冬については、  
 らないなというふうに感じております。

今後の降水量、これについて気象  
に掛けてはいるところでございま  
す。私も話では聞いてございま  
す。

国道から国有保安林にかけた  
人家横の側溝整備は、順次整  
備を実施してまいりましたが、  
後背地の崖地箇所につきまして  
は、崖地が急峻なため側溝等の  
整備はなされておりません。

高台の民有地は、農地として  
整備され個々で側溝を管理して  
おりましたが、現在は殆ど休耕  
地となり、側溝の形態を成して  
いない状況であります。

何か災害が起きたときには、それなりに現場の確認やら対応措置と言いますか、成されてきたと思うのですけれども、当時の年間降水量のデータがここにあるのですけれども、確か1999年の7月下旬だったと思うのですが、222・5ミリと、これは寿都ですけれども、大体島牧でもそのくらい雨が降ったのだろうと。ですから、當時7

のへん村長いかがですか。

が降ることは起り得ると、そ  
ういう前提の基に、豊浜地区と  
いうことに限らず村内全体を一  
度きちと検証して、本当に危  
険な箇所にはそれなりの対応を  
しておくべきだろうというふう  
に強く思うのですけれども、そ  
してくる中で、それなりの強い雨  
が勘案していくと、これからどう

校舎が 暈和5年の新耐震基準  
以前の建築物でありますことから、安全・安心な学校環境づくりの考え方から早急な対応策の二環といたしまして、本年度実施するところであります。

诊断評価も「耐震補強を要する」若しくは、「改築を要する」のいずれかの結果が示されるのではないかと予測しているところです。

仮に、「耐震補強を要する」との結果を受けた場合につきましては、耐震補強工事に掛かっては、既に40年を経過しておりますが、この考え方のとおり和41年に建築されました小学校舎は、既に40年を経過しておりますが、この考え方のとおり和41年に建築されました小学校

第1段階は「耐震上問題なし」、  
第2段階は「耐震補強を要する」

との結果を受けた場合につきましては、耐震補強工事に掛かって

経費及びその後の使用可能年限等の試算による対費用効果や、村の財政状況等も考慮しながら最善の方策を検討してまいりたいと考えております。

以上、現時点における予測をもとに概括的考え方を申し上げま

したので、ご質問の意に見合つた答弁内容となつていなかもしれませんが、具体的な対応策の検討につきましては、あくまでも調査結果に基づき行わざるを得ない内容でありますことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

再質問

教育長ご自身、小学校の耐震診断を実施し、今後の対応を検討するところに本当に明言されているということは、何らかの問題・指摘事項が受けられるだろうという観点に立っておられると思うのです。

今、補強工事をするにしても、耐用年数等々という話がありましたがれども、確かに現時点での補強工事も大事ではありますけれども、私はもう少し長期的に小学校の建て替えということを具体的に進めておく必要があるのではないかなどと思うのです。やはり、それに重きを置いた状態の中で耐震診断の結果を踏

まえて、今後のためには作業を進めていくという考え方のほうが私は最終的には村のため、子どものためになるのではないのかと考えますけれども、教育長はいかがですか。

教育長

先程答弁の中で、そのへん要は「耐震補強を要する」という仮に結果が出たときにはどうするかという部分で、そのへんの要因も当然検討の中身に入っています。

ところどころでございますけれども、

実際にこれは調査をしてみないと分からぬのですが、実際に補強工事にどれくらい掛かるか

という問題と、建て直した場合、

仮に校舎のほうだけでも建て直したと想定した場合、大体単価が現在24万円くらいの平均単価から、単純に平均的な校舎として2,300平方メートルくら

いで、概算的に出しますと、掛け合わせますと5億5千2百万

ですか、それから既存の校舎の取り壊し料が大体4,300万

はかかるというふうに言われています。

そうしますと、単純にこれは全く概算的な数字ですので、5億9千7百万という金額になると。

先程言いましたとおり、補強工事だと大体何千万単位くらいで終るのじゃないかというふうに言われていることから考えますと、かなりな差が生じてくることがあります。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替えということができるとよいかもしれません

が、やはり村の財政状況等も考

え併せながら検討していかない

と大変な問題じゃないかなとい

うふうに考えるところです。

そういう意味で、最終的な

調査結果を得たうえでそのへん

慎重に検討していきたいとい

ふうに考えております。

先程言いましたとおり、第3

段階の「改築を要する」という

結果が出れば、これはもう全く

考える余地がありませんので、

その一番問題となる第2段階の

「耐震補強を要する」のレベル

がどのくらいの位置にあるかと

いうのが一番大きな判断を要す

るところじゃないかなというふうに考えます。

再々質問（要望）

確かに現実的には、費用が安

く上がるほうがいい訳ですけれ

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替えということ

ができるとよいかもしれません

が、やはり村の財政状況等も考

え併せながら検討していかない

と大変な問題じゃないかなとい

うふうに考えるところです。

そういう意味で、最終的な

調査結果を得たうえでそのへん

慎重に検討していきたいとい

ふうに考えております。

先程言いましたとおり、第3

段階の「改築を要する」という

結果が出れば、これはもう全く

考える余地がありませんので、

その一番問題となる第2段階の

「耐震補強を要する」のレベル

がどのくらいの位置にあるかと

いうのが一番大きな判断を要す

るところじゃないかなというふうに考えます。

再々質問（要望）

確かに現実的には、費用が安

く上がるほうがいい訳ですけれ

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替えということ

ができるとよいかもしれません

が、やはり村の財政状況等も考

え併せながら検討していかない

と大変な問題じゃないかなとい

うふうに考えるところです。

そういう意味で、最終的な

調査結果を得たうえでそのへん

慎重に検討していきたいとい

ふうに考えております。

先程言いましたとおり、第3

段階の「改築を要する」という

結果が出れば、これはもう全く

考える余地がありませんので、

その一番問題となる第2段階の

「耐震補強を要する」のレベル

がどのくらいの位置にあるかと

いうのが一番大きな判断を要す

るところじゃないかなというふうに考えます。

再々質問（要望）

確かに現実的には、費用が安

く上がるほうがいい訳ですけれ

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替えということ

ができるとよいかもしれません

が、やはり村の財政状況等も考

え併せながら検討していかない

と大変な問題じゃないかなとい

うふうに考えるところです。

そういう意味で、最終的な

調査結果を得たうえでそのへん

慎重に検討していきたいとい

ふうに考えております。

先程言いましたとおり、第3

段階の「改築を要する」という

結果が出れば、これはもう全く

考える余地がありませんので、

その一番問題となる第2段階の

「耐震補強を要する」のレベル

がどのくらいの位置にあるかと

いうのが一番大きな判断を要す

るところじゃないかなというふうに考えます。

再々質問（要望）

確かに現実的には、費用が安

く上がるほうがいい訳ですけれ

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確

かに全てが建て替え иностранн

ども、たまたま私、給食センター

の問題もあるし、例えば実際の

現校舎の経過年数等々を考える

役割を担つてまいりました。

と、確かに今は安く抑えたいけ

れども、でも長期的に考えたら

やはり何は来るのですから、

特に給食を提供している給食セ

ンター、これもやっと今の基準と。

これらの部分というの

は、確



いうふうに感じております。

佐藤議員

長年の懸案事項でありました東部地区の水道事業がようやく供用開始されることは、誠に嬉しく思っているところであります。一方、村内の下水処理の実状を見ますと、他町に比べても遅れを感じざるを得ません。

特に、浸透井による生活排水の処理をされているご家庭も多くあるように伺っておりますが、その現状についての認識と今後の対応をどのように考えておられるか伺います。

#### 4. 下水処理対策

村内における生活排水の処理方法としては、合併処理浄化槽による処理及び沈殿枠を設置して上澄みを道路等の側溝に排水処理をしておりますが、一部の家庭では浸透枠を設置し敷地内に浸透させ処理している状況にあります。

事業以外の処理方法を検討する必要がありますが、今後、公共下水道が必要がありますが、いざれにおいても村の負担及び受益者負担も必要なことから住民の皆様に大変ご不便をおかけしますが、今後の村の重要な課題と受け止めていますのでご理解賜ります。

本村の汚水処理人口普及率は、平成17年度末現在、道内180市町村の中で最低の2・3%であります。

重要な課題として位置づけて  
対応を考えていただけるということですけども、特にここで述べさせていただきました浸透枠による生活排水の処理をされている方、たくさんいらっしゃると思います。

# 5. 維持補修費

---

## 佐藤議員

財政状況が硬直化の進む中、予算計上には大変ご苦労をされたことだと思います。

そのような中ではありますが、近年の予算編成において、様々な村有財産に対して維持補修に行き届いた対応がなさわていないように感じております。

この件について村長のご所見を伺います。

村有財産の維持補修につきましては、財政状況が非常に厳しいため、緊急を要する施設から逐次維持補修を実施しております。

状況を勘案し補正予算で対処する予定であります。今後も緊急性を見極めつつ有財産の維持補修に努めてまいりますのでご理解賜りたいと申います。

村有財産の維持補修につきましては、財政状況が非常に厳しくため、緊急を要する施設から逐次維持補修を実施しております。

状況を勘案し補正予算で対応する予定であります。今後も緊急性を見極めつつは、有財産の維持補修に努めてまいりますのでご理解賜りたいと申します。

村有財産の維持補修につきましては、財政状況が非常に厳しいため、緊急を要する施設から逐次維持補修を実施しております。

状況を勘案し補正予算で対処する予定であります。今後も緊急性を見極めつつ、有財産の維持補修に努めてまいりますのでご理解賜りたいと申します。

### 再質問

大変財政状況が厳しいので、中々手が付けられないという現状はよく分かります。

しかし、やはりある程度のところで維持補修というのは、長もご存知だと思いますが、かけておかないとその施設そのものが完全に使われなくなってしまいます。また修繕をしようとしたときに、あのときこれくらいはや

再々質問（要望）

今質問者が申したとおり、村長  
有財産、これらの維持補修については、毎年度担当課から必要な箇所の一覧表も来ています。  
それを基に、財政的なことを考慮しながら、優先順位をつけて実施しているのが現実でございます。

今後も調査結果を基に、なるべく早い時期に手当をして後々経費が掛からないように努めてまいりたいと思っておりますのでご理解賜りたいと存ります。

再々質問（要望）

今質問者が申したとおり、村長  
有財産、これらの維持補修について  
は、毎年度担当課から必要な箇所の一覧表も来ています。  
それを基に、財政的なことを  
考慮しながら、優先順位をつけ  
て実施しているのが現実でござ  
います。

のですけども、冬場はまだいいと思うのですが、夏場になると臭いの問題ですとか、そういう問題で苦慮されている方がたくさんいらっしゃいますので、

そのへんについて早急に対応をしていただければ有難いということを要望申し上げてこの質問については終らせていただきま

ておけばよかつたなということも出てくるのじゃないかなと思うのです。

そこに集約をして中長期的な計画を組んでいただければいいの  
一応ご要望として申し上げておきます。

6. 政治生命

---

佐藤議員

「政治生命」をかけて事業対応をする旨の執行説明がありました。昨年来、藤田村長より村民皆様の前及び議会において、した。

村民各位より、政治生命をかけて対応するとの約束が成されていない現状に対し、「我々に対し、その結果などの説明責任があるのではないか。」「議会としても、事業執行を容認した立場として責任を感じるのであれば、きちんと指摘し、説明をさせるべき。」とのご意見をいただきました。

「政治生命をかける。」この言葉に対する村長のご認識と、説明責任に対する見解を伺います。

村長

それについては、村民が安心して住めるよう政治生命をかけて対応しております。

しかし、質問者もマスコミ等でご承知のとおり、現在の医療現場は非常に厳しい状況にあります。

こうしたことから、なお一層、今後も村民の命を守るための医療体制の充実については、命がけで対処してまいりますつもりでおります。

また、言葉への認識でござりますが、医療については村民の命に関する問題ですので、何をもっても最優先して対応する決意であります。

説明責任についてでございますが、必要と思われるものについては、説明不足の点もあると 思いますけれども、節目節目で 議会、また村民に対し説明したり、チラシで周知してきたところでありますのでご理解賜りな いと思います。

瀬戸川議員

## 1. 学校教育における『いじめ・不登校』の対応について

第1点に、平成19年度教育行政執行方針の中で、教育長は主な施策の中で、今日的課題であるいじめ・不登校等の問題行動への未然防止・早期発見・早期対応に取り組むと示している訳でございますけれども、具体的にどのようなことを考えているのかお伺いをしたいと思います。

教育行政執行方針の中の学校教育における「いじめ・不登校」の対応についてのご質問でござりますが、第2点目の質問から先にお答えいたします。

「いじめ・不登校等」について問題行動という文言により表現したことにつきまして、私が、「いじめをする人・いじめられている人・不登校等をする人」これら児童・生徒は問題のあたたではないか、との疑問から発した質問かと思いますが、決してそのような認識にはないこ

とを最初に明言させていただきたいと思います。

説明不足のため、ご質問者に誤解を招くようなこととなつてしまいましたが、子どもたちのいじめ・不登校・暴力行為・自殺・非行等さまざまな行為や行動について、学校では児童・生徒への指導上の様々な諸問題として認識し取り組んでいるところであり、児童・生徒の様々な行動の中で、これらいじめ・不登校・暴力行為・自殺・非行など指導を要する問題があるものを総称的に「問題行動」と称しているところでございます。

「問題行動」という言葉は、決して、問題のある児童・生徒という認識や児童・生徒個々人の行動に問題があるというような意味で用いた言葉ではないことを理解願いますとともに、教育関係者・機関においては広く用いられている言葉でありますこと併せてご理解願います。

次に、第1点目の質問についてお答えいたします。

問題行動への対応につきましては、学校における日常的な指導の中で、児童・生徒一人一人への理解を深め、教師と児童・生徒との信頼関係を築き、すべての教育活動を通じてきめ細やかな指導を行っていくことを基本とし、児童・生徒の発する心のサインといわれます前兆行動を見逃すことなく敏感に受け止め、状況を的確に把握し、個々の事例に迅速かつ適切に対応すべく取り組んでまいります。

また、全教職員が一体となって、児童・生徒の様々な悩みを受け止め、積極的に教育相談等を行うよう、校内指導体制及び校内研修体制の充実に取り組んでまいりますとともに、問題を隠すことなく、学校と保護者とのより一層の信頼関係を築き、学校と家庭との連携協力体制の

強化に取り組んでまいります。

今日的課題であります児童・生徒の問題行動につきましては、文科省及び道教委から指導の対応等について各種の通知が発出されており、これらも参考にし

つつ未然防止・早期発見・早期  
対応に取り組んでまいりますの  
でご理解願いたいと思います。

再質問

しかし、私はそれを聞いて安心した部分もありますけれども、この教育行政執行方針の中では、「子どもたちのいじめ・自殺問題は社会問題化し」、ということが最初に述べておりまして、その次に、学校教育については、「今日的課題であるいじめ・不登校等の問題行動への」ということが出てまいります。

関して、「不審者による声かけ事件、青少年の非行・問題行動等」、こういうふうにして3点申しておる訳でございますけれども、この3点それぞれ「問題」という文言についての意味合いが微妙に違う訳です。

今教育長がおっしゃった答弁の中で、私は特に2点目の学校教育の中に出でくる「問題行動」ということが前後2点のものとかなり意味合いが違うということに私は重きを置いたものですから、特にこの点について確認をしたいということで質問をした訳でございます。

少なくとも、いじめをする人、また、いじめられる人、不登校等をする人の多くは、学校における環境、それから、家庭環境、親子の関係等の歪みというものが関係していると思う訳でござります。

それと同時に、こういった子どもたちは、心に多くの不安と虚無感、虚しさですね、それから寂しさ、あるいは学校の環境等においての恐怖心等を持って、そういうものを親あるいは先生、地域の人々にこれらの心を気付いて欲しい、あるいは自分に目を向けて欲しい、または良いことをしたら褒めてもらいたい、

また、自分の言うことを信じてもらいたい、そういう思いを抱いている人であって、それらはその児童・生徒の心身の成長期における極めて自然な欲求であろうかと思うのです。

これらの欲し求める心をいかに汲み取るかが、それが教師、親の役目であって、決してこういった児童・生徒は問題のある児童・生徒、いわゆる問題児と言われるものではないと私は考えている。

その点、再度教育長のお考えをお伺いしたいということです。それから、第1点目の問題ですがれども、教師と生徒の交流を高めていく中において連携と連帯をとつて対応していくたいというふうなことがありました。教育長から具体的な取り組みとして、今お話があつたこと、その他縷々あつた訳でございますけれども、これらは、教師、児童・生徒、また、父兄との間に信頼関係が築かれる方策の基に成される取り組みでなければならぬと思いますが、こういう状況の中で、今教育長からお話をありました対策の中で、もろん教師の資質及び生徒に対する指導力に疑義が生じた場合、学校長に対してどのような対応・

対策を指示されるのか、この点についてお伺いをしたい。

また、昨年12月定例会において、いじめについての質問に、教育長はそのときの答弁で「ない」との答弁をされたのですが、その約1ヵ月後の北海道教育委員会による「いじめに関する実態等調査」の中で、島牧小学校においては7名、島牧中学校においては3名が、いじめられているという回答をしておりますが、昨年12月時点での校長から教育長に対してのいじめ・不登校についての報告はどのようなものであったのか併せてお伺いしたいと思います。

けしながら使わなければ誤解を招くのかなと思いましたけども、決して質問者の言われるようない意味合いで使ってないということはご理解いただきたいと思います。

それから、2点目の問題ですが、何点かに質問が分かれるかと思いますが、一つ言えるのは学校現場において、教員が直接子どもたちと関わっていく部分というのが非常に大きい訳で、これらの対応については、そういった意味合いからいきますと教員それぞれの資質の問題というは、質問者がおっしゃるとおり大変大切な問題かと思ひます。

そういうった部分では、教員の資質向上のために校内での研修体制を整えていくということ是非常に大切なことであると同時に、一人の教員に物事が任せられるいかない、いわゆる学校全体として教員が全員で一つの物事に取り組んでいくと、そういうような体制を学校に対しても厳しく求めているところでござります。

理解賜りたいと思います。

それから、昨年の12月における道教委のいじめの調査に関する結果でございますが、私は12月の定例会の折には、本村においては自殺等に至るような大きなじめはないというふうに認識しているとはつきり申し上げました。ところが、その調査結果が出たとたんに、いじめられていると認識している子どもが現在小・中学校で10名いるという結果が来ました。

私自身も非常にショックではありましたけれども、そのことを重く受け止め、学校でそれがどのような実態にあるのかといふことを早速調査すると共に、その対応に向かってきましたところでございます。

当時、学校においてのいわゆるいじめという実態がどれだけあるかという部分については、正直言って学校から私のほうには、そのような心配するような大きなじめはないというふうに報告は来ておりましたけれども、実際に、そういうふうに感じている子どもがいるということは、これは調査結果事実であつたと。

逆に言うと、いじめをしている子もいるということに

なる訳ですけども、これはいじめをしている子どもが、いじめ

るという意識でやっているかどうかは非常に疑問符が残る部分

とか様々な部分はございます。

そこまでは相手が特定できな

いものでございますので、詳細

な部分はありませんが、そういうふうに感じている子がいると

いうことを重く受け止め、学校として対応しておりますのでご理解いただきたいと思います。

#### 再々質問（要望）

今、教育長のほうから縷々説明等がございました。

私は、今回のこの質問の中で、学校の現場の中において「問題児」という、こういう言葉が発せられている事実を確認しております。

それから、いじめ、または不登校等については学校現場における教員の対応として、資質の向上と併せて一丸となつて取り組むと、学校全体で取り組むという答弁がございました。

しかし、学校全体で取り組むよう指示することは有難いことではございますけれども、学校の中における教員同士の交流と言いますか、そういうものが果たして万全であるのかということもについて、私は非常に大きなこ

## 予算特別委員会

平成19年度の各会計予算是、  
3月6日開会の第1回村議会  
定例会において、予算特別委員会が設置され、これに審査

を付託し、3月12日審議されました。  
3月12日に再開された本会

議では、伊藤予算特別委員長

より審査の結果が「各案とも原案のとおり可決すべきもの」と報告があり、本会議で採決の結果、各会計予算とともに委員長の報告のとおり可決されました。

## 平成19年度島牧村一般会計予算 前年度対比13%増の22億9,000万円

国民健康保険事業特別会計予算 …… 3億 800万円  
簡易水道事業特別会計予算 …… 5,750万円  
老人保健特別会計予算 …… 3億1,600万円  
介護保険事業特別会計予算 …… 2億2,876万円

### ◎平成19年度予算の主な事業をお知らせします

#### 一般会計

科 目	事 業 名	予算額(万円)
総務費	バス交通確保対策補助金	1,552
民生費	いきがい活動支援通所事業	740
	社会福祉協議会運営費助成金	919
衛生費	医療機器購入事業（上部消化管内視鏡、超音波診断装置、除細動器心電図連動型、ホルダー解析機能付心電計システム、無散瞳眼底カメラ、レセプトコンピューター他）	2,844
農林水産業費	水産業振興構造改善事業（漁協製氷・冷凍・冷蔵施設新築）	29,121
	種苗生産施設管理事業補助金（漁業資源回復対策事業）	725
商工費	商工会運営助成金	955
	（株）ソーアイング島牧運転資金貸付金	3,800

#### 介護保険事業特別会計

事 業 名	予算額(万円)
デイサービス運営業務委託料	1,841

危惧をするものでございます。

それは、一部分においては教員同士において中傷したり、または批判をしたりということが現実問題としてある訳でございます。

また、いじめ等に関して言いますと、現在も教育長がおっしゃつたように、いじめをしていました。思われる生徒は現ております。

それから、リストカットしている生徒がいることも知つておられます。非常にこれは大きかつ重大な問題であります。

そういうものに、教師と生徒と父兄が連携して、そして常に子どもの意識と行動というものについて深く目を向けて対応していくかなければ、こういうことは中々収まらないのではないかということを深く思います。

2月初旬の段階で私が把握している、いじめられているという子どもは2人おります。それから、リストカットに及んでる生徒が1人おります。

そういう事例が少なくとも私の耳に入っている訳でございますから、教育長は校長に対しより一層、学校内における教師と生徒間との対話及び指導・監視というものに力を注いでいたぐことを切にお願いして私

の一般質問を終らせていただきたいと思います。

## 第1回村議会臨時会

平成19年第1回臨時会は、2月16日招集され、条例改正

2件及び後志広域連合に関する件を審議し、同日閉会しました。

（その後、2月20日再度開催した同特別委員会において、16町村で構成する後志広域連合に加盟する方針が了承され、3月定例議会においては、同連合の設置に係る規約が原案どおり可決されました。）

### 審議した議案と内容

▼職員の給与に関する条例の一部改正

診療所救急医療待機手当

月額1万円を3万5千円に改定

◎全員賛成で原案可決

▼医師の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正

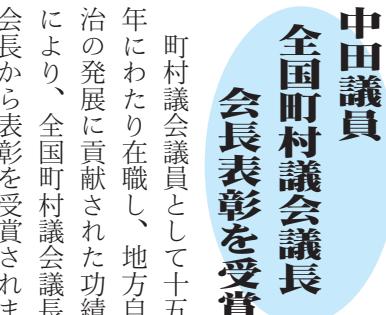
夜間・休日診療手当

月額10万円を20万円に改定

◎賛成多数で原案可決

▼後志広域連合に関する件

昨年12月定例議会において、後志管内19町村で構成する後志広域連合の設置に係る規約



中田議員  
全国町村議会議長  
会長表彰を受賞



### 議会の日誌

(自 平成19年1月)  
(至 平成19年3月)

#### [1月]

- 5日 消防出初式 (生活改善センター 議長他)  
7日 成人式 (おあしす 議長他)  
15日 例月出納検査  
23日 南部後志町村議会正副議長会臨時総会  
(寿都町 正副議長)  
25日 医療体制調査特別委員会  
議員協議会  
議員会新年交礼会

#### [2月]

- 3日 はちろ吉雄を囲む新春の集い (小樽市 議長)  
15日 例月出納検査  
後志支庁管内町村議会議長会定期総会  
(虻田町 議長)  
16日 第1回村議会臨時会

26日 議会運営委員会

#### [3月]

- 2日 南部後志衛生施設組合議会 (寿都町 副議長)  
南部後志環境衛生組合議会  
(黒松内町 佐藤議員)  
6日 第1回村議会定例会開会  
7日 島牧村スポーツ表彰式  
(生活改善センター 副議長)  
12日 第1回村議会定例会 (2日目)  
予算特別委員会  
15日 島牧中学校卒業式  
(議長他)  
例月出納検査  
20日 島牧小学校卒業式 (副議長他)  
23日 岩内・寿都地方消防組合議会  
(岩内町 高島議員)  
24日 島牧保育所卒園式 (副議長)  
28日 後志教育研修センター組合議会  
(俱知安町 中田議員)